



県立福山高等学校
図書館便り特別号



令和4年6月28日
図書委員会 作成

図書館便り6月号は図書委員が作成しました。2年前、当時の図書委員長が「たくさんの人に図書館にきてもらいたい。たくさん本を読んでもらいたい。そのためには、図書委員で図書館便りを作り、たくさん本を紹介することから始めたい。図書館便りを作らせてください。」と司書の伊集院先生に話したことから始まったそうです。タイトル等はその当時のもので、今回も使用させていただきました。先輩たちの思いを引き継いで、これからも頑張ります。

今回、どのような内容がいいか悩みましたが、福山高校の先生方は読書好きが多いと耳にしていたので、【第1弾 先生方のオススメの本や好きな本】を紹介する号にしました。協力してくださった先生方、ありがとうございます(紹介文は先生方が書いてくださったものをそのまま載せました。猫の吹き出しは図書委員のつぶやきです)。先生方が紹介して下さった本は図書館に展示予定です。お楽しみに。7月には特別貸出が始まりますので、今回紹介した本を夏休み用の1冊に加えてくれるとうれしいです。



☆1年部 常盤先生の〔オススメの本〕

本好きの下剋上

香月 美夜 著



アニメ第3期放映中!!本が大好きな女の子が本のない世界に転生して、印刷業を広める話です。現世で亡くなる前、お母さんにお別れが言えなかったメインは、生まれかわった時に家族をととても大事にします。その姿に心ひかれるフェルディナンドの苦悩がえがかれており、人間味あふれる楽しい時間を与えてくれる一冊です。

自分はアニメを視聴したことがあるのですが、本に関する歴史がでてきて面白いと感じる作品でした。小説はまだ読んでいないので読んでみようと思います。皆さんも是非読んでみてください。



☆2年部 徳田先生の〔好きな本〕

スーツケースの半分は

近藤 史恵 著



フリーマーケットで見つけた青いスーツケースを相棒に、四人の女性がそれぞれの旅にでる物語です。それぞれが悩みを抱えながら毎日を送っていましたが、旅に出たことが新たな一歩を踏み出すきっかけになっているところに勇気づけられました。一冊読み終わると、旅に出たくなりますよ。

自分のある一つの行動からまた新たな自分や物に出会えるきっかけになると思います。福高図書館には今ないですが、近々並べられる予定!是非読んでみてください。



☆3年部 八木先生の〔オススメの本〕

甲子園だけが高校野球ではない

岩崎 夏海 著



高校野球というと、甲子園だけが注目されがちですが、高校野球に携わっている人全員に1つ1つのドラマがあります。この本は「野球だけが人生ではない」ことを野球を通じて学んでいる、挫折と再生の物語です。

野球のことはよくわからないけど、題名がとても気に入りました。読んでみたいです。福高図書館にありますよ!



☆1年部 山下先生の〔好きな本〕

東京バンドワゴン シリーズ

小路 幸也 著



東京の下町の古本屋を舞台にくり広げられる様々な短編物語。大家族・堀田家の大黒柱で店主の勘一を中心に個性的なキャラが多く登場するので、好きな人が見つかるはず。笑いあり涙ありで読み終わるとスッキリします。時間の経過とともに成長する登場人物にも要注目。「LOVEだねえ」

古本屋を舞台にしているところが面白いと思いました。ぜひ読んでみたいです。ちなみに、東京バンドワゴンシリーズは17巻まで出版されています。福高図書館には今ありませんが、これを機会に、少しずつ図書館に並べる予定です。



☆2年部 折田先生の〔先生にも生徒にもオススメの本〕

暮らしと民主主義の大学創造 ー地方大学と生涯学習ー

神田 嘉延 著



超名門校「福山中学校」が現在の「福山高校」の始まりだったことをご存じですか？「福山中学校」は1918年（大正7年）に、福山出身の田中省三の私財によって私立学校として創設されました。イギリスのパブリックスクールを模範にして、日本最新のパブリックスクール型の学校をつくるため、全国から特色をもつ教員を集めていたそうです。また、西郷隆盛の「敬天愛人」の精神から「敬天塾」という学生寮も設立して、生徒と教師がともに寝泊まりをして学業に励んでいたそうです。実学教育・英才教育を理念にした教育は世界各国に共鳴し、国内はおろか台湾など外国から優秀な生徒が集まり、その教育を受けた多くの卒業生が国内外の社会の先導者となっていきました。その後、福山中学校は1945年に県立に移管され、学制改革によって県立福山高等学校となり、さらに牧之原高校と合併し、1987年に現在の福山高校となりました。この本（p230-240）にはその歴史が詳しく書いてあります。

福山高校の歴史を知ることができる本。福山高校生として読んでみてはいかがでしょう？



☆3年部 前園先生の〔好きな本〕

風の谷のナウシカ

宮崎 駿 著



まさかの掟破りのマンガを紹介。ただ、マンガと侮ることなかれ。非常に複雑で奥深い、味わいのある本（全7巻）です。劇場版アニメでは、王蟲（オーム）の暴走を止めたところまでが描かれていましたが、それはこのマンガの2巻半ばまでの部分。その後、トルメキアとドルクとの戦争、腐海の歴史と大海嘯（だいかいしょう）、王蟲の役割と巨神兵の謎など、とにかく奥が深いです。しまいには、ナウシカは巨神兵の母になるよ（ネタバレ）。とにかく面白い。読んでみて!!

先生、ネタバレしてる！
アニメとまた違った深いストーリーなので、読んでみたいと思いました。
福高図書館に全巻ありますよ！マンガだけど、貸出OKです。



☆鶴田校長先生の〔好きな本〕

竜馬がゆく

司馬 遼太郎 著



坂本龍馬は薩長同盟・船中八策（後の五箇条の御誓文の見本となる）・亀山社中（海援隊）の結成・大政奉還の立役者など、数々の偉業を成し遂げる。また、北辰一刀流の一流の剣術家の一面を持ったり、自由や平等、身分制度の否定など、江戸時代では考えられない思想の持ち主でもある。「彼ならば世の中を変えられる」と感じさせてくれると共に、私自身も世のため何かしなければならぬと勇気を与えてくれる歴史小説です。

幕末の時代を生きた坂本龍馬のことを知ることができる一冊です。図書館に1巻から8巻まであります。読んでみてください。



福山高校では図書委員会主催で『全校生徒参加型ビブリオバトル』を開催しています。1年生の中には「ビブリオバトルって？」という人もいるでしょう。公式HPによると、『ビブリオバトルは誰でも（小学生から大人まで）開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。【人を通して本を知る、本を通して人を知る】をキャッチコピーに日本全国に広がっています。』とあります。本について知ることはもちろん、発表する人の考え方や人柄をも知ることができる、素晴らしいイベントです。

ビブリオバトル 公式ルール

※発表者のことを「バトラー」、発表を聞く人たちのことを「観戦者」と表現します。

1. バトラーが読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表のあとに観戦者がディスカッション（その発表に関する質問や感想など）を2～3分行う。
4. 全ての発表が終了したあとに、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員（バトラー・観戦者）で行い、最多票を集めた本を『チャンプ本』とする。

（知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト <http://www.bibliobattle.jp/>より）

1回目は7月14日（木）に開催予定です。バトラー（発表者）をやりたい人は各クラスの図書委員までお知らせください。みんなで楽しみましょう！